

神奈川県を通じて医療従事者の皆様に200万円を寄付しました

2022年4月28日(木)

神奈川県を通じて医療従事者の皆様に活用してもらおうと200万円を寄付しました。4月28日、神奈川県庁を訪問して、黒岩知事から感謝状をいただきました。坂井会長は「昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症で、医療ひっ迫など多くのご苦勞をされている医療従事者の皆様に寄付したい。予定した事業等もできず、協会としての社会貢献の一環として、その費用で寄付することを理事会で決定した。まだ収束していない状況下で、今後も医療従事者の皆様に応援したい」と話していました。また、感謝状を手渡した黒岩知事も、「コロナで大変な思いをされている医療・福祉の現場の方々を応援する取り組みを進めてまいります。昨年に続くご寄付に深く感謝いたします」と感謝の意を述べられていました。



かながわ夢絵コンテスト表彰式

開催日：2022年3月5日(土)  
神情協事務局

小学生の子どもたちより5,108点もの夢絵が集まった、第26回かながわ夢絵コンテスト表彰式が、オンラインで開催されました。

子どもらしい自由な発想と豊かな想像力で描かれた夢絵からは、たくさんの驚きと感動、そして輝かしい未来への希望を感じることができます。

全応募作品の中から最も優れた作品に贈られる最優秀賞は、タイトル「技術のゆく先は」横浜市立茅ヶ崎東小学校5年の榎澤つむぎさんが選ばれ、続く優秀賞の「神奈川県情報サービス産業協会賞」は、タイトル「笑



最優秀賞

顔があふれるみなとみらい」横浜市立三保小学校6年の鶴野沢莉奈さんが選ばれました。また、会員企業より「企業サポーター賞」として、たくさんの賞が児童たちに授与されました。

かながわ夢絵コンテストは、テーマ「ぼくたち、わたしたちの未来の世界」で応募対象者は神奈川県在住および在学の小学生、毎年6月～11月までの応募期間とされています。



神奈川県情報サービス産業協会賞

会員企業の子どもたちもぜひ応募されてみてはいかがでしょうか。そして企業サポーターとして登録されてはいかがでしょうか。

神奈川IT就職フェア

開催日：2022年3月15日(火)  
産学連携委員会

夜明けからの風雨もおさまり、2022年の神奈川IT就職フェアは晴天のもと新都市ホールで開催されました。来場学生たちが熱心に説明に聞き入り、メモを取る様子が非常に頼もしく見えました。近年、非接触の工夫が私たちの生活にも広まったこともあり、この非接触での受付対応を実現した「検温消毒一体器」や「EQOSシステム」が本会場に設置導入されたので、昨年度懸念事項となっていた、会場入り口や各ブースでの人による密集を回避することができました。各出展企業はブース装飾品を持ち込み華やかな装いが増し、少数精鋭体制で説明対応と、学校関係者の来場対応に追われた一日となりました。昨今、Webでの企業説明会が主流と

なって来ている状況で、昨年度のような来場学生数はなかったが、貴重な対面型企業説明会に、Webでは得られなかったリアルな企業人との接触に来場学生たちも満足した様子でした。

シンポー情報システム株式会社  
青木康行



## 関東学院大学

関東学院大学は、1884年の創立以来、横浜の地で、キリスト教に基づく人格教育を継承してきた11学部13学科8コース、5研究科を擁する総合大学です。2023年4月には、社会的な要請に対応するため、理工学部表面工学コース、健康科学・テクノロジーコースの新設も予定しています。

2014年に社会連携センターを設置して以来、「社会連携教育」を標榜し、専門分野の理論やモデルを教室の中で学ぶだけでなく、企業や自治体、地域などと連携しながら、実社会をフィールドに実際の社会課題に対する実践を行う教育を推進しています。2023年4月には、JR関内駅前に横浜・関内キャンパスを開校し、キャンパスの利便性の高さも活かしながら、社会連携拠点として活用し、社会連携教育をさらに発展させていく予定です。

横浜・関内キャンパスでは、ホールやコワーキングスペースなど、市民の皆さまへ広く開放する様々な施設の設置も予定しており、さらに社会に開かれた大学を実現していきます。



所在地：神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1

設立：1884年

学生数：10,988名（2022年5月現在）

学部・学科：国際文化、社会、法、経済、経営、理工、建築・環境、人間共生、教育、栄養、看護

電話番号：045-786-7049

URL：<https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/>

## 神奈川大学

本学は1928年に横浜市に設立され、理学部は1989年に平塚市にあるキャンパスに設立されました。2023年度からは、理学部も横浜市に移転し、ICTに関わりの深い理学部、工学部、情報学部等が集約される予定です。

理学部は数学、物理、化学、生物そして情報分野の学科から構成されています。卒業生は生物や化学等に関係が深い企業に進む者もおりますが、大学で培った論理的な思考力を活かして、ICT分野で活躍する者もおります。

現代、どのような分野でもICT分野のリテラシーは必須です。そのため、理学部のカリキュラムでも情報分野の科目を重視しています。「大学向けSE講座」は、3年次の授業「情報システム論」の一部として行われております。この科目は選択科目ではありますが、多くの学生に好評を得ています。実際に情報システムの運用や構築に携わっている先生方の知識や経験が、学生に将来を真剣に考えるきっかけを与えてくれているからです。



所在地：神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1

設立：1928年（理学部は1989年）

学生数：17,773人（理学部は1,590人）

学部・学科：法学部、外国語学部、工学部、理学部等の9学部（2023年度より11学部）

電話番号：045-481-5661

URL：<https://www.kanagawa-u.ac.jp/>

## 中央大学

神情協からSE講座の寄附講座を受けてから10年、中央大学においては「特殊講義（情報サービス産業研究～変わりゆくIT開発現場～）」という科目で学生に科目を開講しています。多摩キャンパスには文科系学部しかなく、また必修となっていない自由科目という位置づけからIT業界に興味を持つ学生諸君やIT知識を深めたい意欲的な学生諸君が履修している科目となっています。科目担当者が、「SEは3K、7K」などと言われてしまう業界なので、実際は違うということを学生諸君に伝えたいという思いで始めました。最近、文系学部からの就職件数も増え、IT業界に対する誤解が少しずつ解けてきているように感じています。講座の講師陣の熱が伝わり、この講座を受講した学生が将来、今度は講師として学校に戻ってきてくれることを望んでやみません。（科目担当者：商学部教授 斎藤正武）



所在地：中央大学 多摩キャンパス 東京都八王子市東中野742-1

設立：1885年設立

学部・学科：商学部、法学部、経済学部、総合政策学部、文学部、国際経営学部

電話番号：0426-74-3572（商学部）

URL：<https://www.chuo-u.ac.jp/>

## 湘南工科大学

湘南工科大学は、1961年に設立された学校法人相模工業学園を母体に、1963年に開学した工科系大学です。キャンパスは湘南・藤沢市に位置し、少し南に歩けば湘南海岸に出ます。海岸からは、左手に江の島が、右手には雄大な富士山を望めます。開学以来、この素晴らしい環境の下で、社会の基盤を支える技術者を輩出してきました。2023年4月、従来の工学部に加え、ICTの多様な分野を横断的に学修できる「情報学部」を新たに設置し、2学部5学科の新体制となる予定です。情報学部では、Society5.0の実現につながる、社会的要請の高い、AI、データサイエンス、XRメディアなどの先端ICT分野を扱い、技術を横断的に活用して課題解決に生かす力を身につけた人材の育成を目指します。



所在地：神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25

設立：1961年

学生数：2,248人（2022年5月1日）

学部・学科：【情報学部】情報学科（人工知能専攻、情報工学専攻、情報メディア専攻）、

【工学部】機械工学科、電気電子工学科、総合デザイン学科、人間環境学科

電話番号：0466-30-0200（入試課）

URL：<https://www.shonan-it.ac.jp/>

## 文教大学

文教大学は、1927年開設の立正裁縫女学校を祖とする幼稚園から大学院までを擁する文教大学学園の大学部です。情報学部は、1980年に日本初の情報学部として誕生し、1985年にいまの神奈川県茅ヶ崎市の湘南キャンパスに移転しました。中世欧州の都市をイメージするレンガ造り式の校舎を配するキャンパスでは、豊かな自然の中で空を目指す聳塔を象徴に多くの学生が勉学に励んでいます。

文教大学では、「大学向けSE講座」を情報システム学科開設講座の「システム開発事例研究」として実施しています。1年次から3年次まで学修する「プロジェクト演習」を実社会とのつながりから俯瞰できる講義として人気の講義となっています。

2022年度は、4月からソーシャルディスタンスを十分にとりながら久しぶりの対面講義を実施しており、12月10日の「プロジェクト演習成果発表会」でも、従来形式で外部公開を予定しています。皆様のお越しをお待ちしております。



所在地：神奈川県茅ヶ崎市行谷1100（湘南キャンパス）  
設立：1927年（文教大学学園）  
学生数：約10,000人（文教大学学園）  
学部・学科：情報学部 情報システム学科  
電話番号：0467-53-2111（代）  
URL：<https://open.shonan.bunkyo.ac.jp/>

## 産業能率大学

1979年に創立された産業能率大学は、学生教育部門だけでなく社会人教育部門の「総合研究所」を擁する実学重視の大学です。開設時から「企業実習（現インターンシップ）」も必修科目で、産業界との連携を特色としています。現在も全学生が自分のノートパソコンを持ち、グループワークやプレゼンテーション、企業や地域とのコラボレーション授業など学生が主体的に学ぶアクティブラーニング視点や、企業等学外から提示された課題解決に取り組むPBL（Project Based Learning）をカリキュラムに積極的に導入しています。湘南ベルマーレ・横浜DeNAベイスターズ等のプロスポーツチームやコンテツ関連企業との連携も特色のひとつです。



所在地：自由が丘キャンパス（経営学部）  
東京都世田谷区等々力6-39-15  
湘南キャンパス（情報マネジメント学部）  
神奈川県伊勢原市上粕屋1573  
設立：1979年4月1日  
学生数：経営学部 2,355名 情報マネジメント学部 1,601名（2022年5月1日現在）  
学部・学科：経営学部 経営学科・マーケティング学科  
情報マネジメント学部 現代マネジメント学  
電話番号：自由が丘キャンパス（経営学部）03-3704-9955（代表）  
湘南キャンパス（情報マネジメント学部）0463-92-2211（代表）  
URL：<https://www.sanno.ac.jp/>

## 東京工芸大学

東京工芸大学は1923（大正12）年に創立した「小西寫真（写真）専門学校」を前身とし、2023年に創立100周年を迎えます。

本学は、神奈川県厚木市に工学部（工学科）及び大学院工学研究科、東京都中野区に芸術学部（写真、映像、デザイン、インタラクティブメディア、アニメーション、ゲーム、マンガの7学科）及び大学院芸術学研究科の、2学部と2研究科で構成されています。

工学部は全学生が情報基礎、数理・データサイエンス、AIの素養を学び、時代をリードする先端分野に強いエンジニアリングセンスのある人材を目指し、芸術学部はメディア（媒体）を通じて表現するメディア芸術を専門とし、業界で活躍できる実践力ある人材の育成を目指します。

創立時から「テクノロジーとアートを融合した無限大の可能性」を追究し続けてきた本学は、これからは最先端の教育を実践し、テクノロジーとメディアアートの分野で、新たな価値を創造する人材を育成していきます。



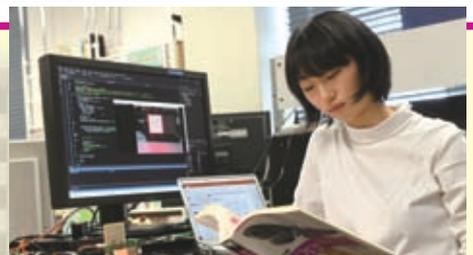
所在地：工学部 神奈川県厚木市飯山1583  
芸術学部 東京都中野区本町2-9-5  
設立：1923年3月7日  
学生数：工学部 1790名、芸術学部 2772名  
学部・学科：工学部：工学科  
芸術学部：写真学科、映像学科、デザイン学科、インタラクティブメディア学科、アニメーション学科、ゲーム学科、マンガ学科  
電話番号：工学部 046-242-4111、芸術学部 03-3372-1321  
URL：<https://www.t-kougei.ac.jp/>

## 神奈川工科大学

学校法人幾徳学園神奈川工科大学は「情報」「環境・エネルギー」「生命・健康」を教育研究の重点領域とする理工系総合大学です。現在5学部13学科、大学院前期課程6専攻、後期課程5専攻を有します。

教育目的・目標として「『考え、行動する人材の育成』—社会で活躍できる人づくり—」を掲げ、「創造する力」「豊かな人間性」「コミュニケーション能力」「基礎学力」を身につけ、実社会で活躍できる人材を育成します。また、産学連携による人材育成の視点から企業と大学で幅広く意見交換を行い、新しい教育プログラムの開発、インターンシップや企業連携学習等も実施しています。

情報学部では、社会が求める教育ニーズに応えるため学部3学科の学生が自らの意欲と学力に応じて選択できる、学科横断型「AI & IoT プロフェッショナルプログラム」および領域深耕型「スポーツ情報科学 エキスパートプログラム」の2つのプログラムも用意しています。



所在地：神奈川県厚木市下荻野1030  
設立：1963年設立の幾徳工業高等専門学校を前身として、1975年 幾徳工業大学として設立、1988年に神奈川工科大学と改称  
学生数：約5,000名（大学院生を含む）  
学部・学科：情報工学科、情報メディア学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、機械工学科、電気電子情報工学科 他  
電話番号：046-291-3036（キャリア就職課）  
URL：<https://www.kait.jp/>



2022年度定時社員総会・懇親会が横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ5階の日輪の間で開催されました。定時社員総会に引き続き、ベストワーキングウーマン表彰式とSE講座講師認定書授与式が行われ、同会場で着席形式での懇親会が開催されました。

## 総会

坂井会長より冒頭に、「2年間コロナの対応が続き、神情協としての活動も思うようにできなかったのが現実。しかし他の業界に比べてIT業界はまだ影響が少なく、元気な企業もいっぱいある。我々IT企業が経済を牽引する必要があると感じている。神情協の活動の中では、新型コロナワクチン職域接種を377人の方に実施、医療従事者の方への寄付などの活動をした。会員企業へのサービス強化としてはイベント開催ができなかった分、『KIA-eチケット』を発行した。1年間期限を延長したので会員企業にはセミナー・イベントへの参加に活用していただきたい。今日の懇親会も立食形式がよいのかもしれないが、段階を踏んでまずは懇親会を開催してみようということで、約200名の参加で開催できることになった。SEハンドブック第10版も販売を開始、IT技術者として学習するのにとても良い教材になっている。今日は今後予定している会員向けサービスなど準備しているものも含めて情報提供をしたい」と挨拶がありました。

総会は、正会員数294社、出席会員数67社および委任状

提出120社、総数187社で総数の過半数以上あり総会が規定どおり成立との報告のあと、坂井会長が議長に選出され、審議が始まりました。

進行役の加藤事務局長より、IT業界の現状と神情協の状況、2021年度の事業として各委員会の活動を報告、続いて2022年度決算報告および第7期理事および監事追加選任を審議し、議案全てについて異議なく満場一致で原案通り承認可決されました。

## ベストワーキングウーマン表彰式

魅力ある課題に取り組み、女性活躍の場を広げ躍動的に活動しているワーキングウーマン27名の表彰を行いました。

## SE講座講師認定書授与式

SE講座講師4名に認定書の授与を行いました。

## 懇親会

その後の懇親会では、約200名の参加で、坂井会長挨拶、中山副会長の乾杯と続き、会場内には写真愛好家グループの心情フォトクラブの写真展示がありました。また、懇親会中盤より名刺交換会や2021年度技術委員会主催のアプリコンテストで最優秀賞を受賞した株式会社デジタルコム「ピクトあわせゲーム」のデモを実施し、板橋副会長の中締めで総会および一連行事は無事お開きとなりました。

## SE講座講師認定書授与式

開催日：2022年6月16日(木)  
神情協事務局

進行の小川名委員長より「2004年度から開催している大学向けSE講座は19年目。9大学で53名の講師全員が、神情協のプレゼンス向上と学生にSEの仕事をより理解していただくため、使命感をもって臨んでいる。今回4社4名を大学向けSE講座講師認定審査会が面接を行い、それぞれの経験・豊かな個性・本事業への熱意を評価し講師認定に至った」と挨拶があり、続いて坂井会長より認定書の授与が行われました。

## 第63回神情協ビジネスフォーラム

開催日：2022年2月17日(木)  
企業経営委員会

第63回ビジネスフォーラムがWeb (Zoom) で開催されました。坂井会長の挨拶からはじまり、1社目はアナザーウエアの「電子資料システム Smart Factoryコンシェルジュ」。最近DXやスマートファクトリーなどのワードを目にするがどこから手を付けてよいかわからない主に製造業のお客様をシンプルに紙からデータへ案内してくれます。2社目はアルファウェブの「教育研修講座」。サイバーセキュリティ対策で4種類の講座が5月から順次開講されます。神情協のeチケットを利用すると格安です。

3社目はインカレッジの「適正検査 Hci-ASと業務災害総合保険」。面接だけではわからない人の本質を確認できる採用のミスマッチやメンタルヘルスの確認もできる検査。会員価格での格安メリットあり。また今年4月から中小企業はパワハラ防止法が施行され「業務災害総合保険」のニーズは高まりそうです。4社目は特定非営利活動法人LPI-Japanの「LinuC (リナック)」。強いIT技術者を創り出すための基礎技術力をしっかりと学べる認定資格。パートナー限定で無償教材を提供中。

5社目はオルトスの「MEETUS (ミータス)」Zoomの面

談募集から予約までをシンプルに解決するサービス。時間の節約やコスト削減にもつながりシンプルなのでお相手も操作が簡単。6社目は鈴与シンワートの「あきレポ アルコールチェックサービス」。2022年4月から白ナンバー事業者もアルコールチェックの義務化に伴う安全運転クラウドサービス。スマートフォンの自分専用アプリを使ってアルコールチェックと検温が同時にできて、結果はクラウドサーバーへ自動送信され企業側は事前に運転者の体調管理ができます。

7社目はヒューマンクスの「事業内容の紹介」。主な事業は開発等の常駐業務と受託開発・保守運用監視・パッケージ開発販売などで、東京でIT交流会や東京ソフトウェア協同組合に加盟しており、東京地区で色々な業務の連携で力添えができます。発表企業は7社で、人数は45人、1社あたり10分の持ち時間でした。最後に「次回はコロナが少しでも収まり是非リアルで開催できることを願う」と守屋委員長が締めくくりました。

今回の発表企業に興味がある方は是非発表担当者へ直接お問合せ願います。

株式会社日本エイジェンシー 鈴木貴司

進行の田村副委員長より「働く女性の意欲向上と働き続ける励みにするとともに、今後ますます女性の活躍の場を増やしていくことを目的に、平成18年から行っており、今回が第16回となる」と説明がありました。また、千葉委員長の「昨今の急激な変化の波にいち早く乗れるのは女性たちのパワフルな力だと思っている」との挨拶に続き、坂井会長より表彰が行なわれました。

【貢献賞】 (5名)

勤続年数が15年以上であり、収益の向上や人材育成に努め、お客様及び社内での高い信頼がある方

会社名	受賞者
株式会社アプリコット	高澤 佐智子
株式会社アプリコット	八木 まこと
NTTデータフォース株式会社	佐々木 真奈美
日産車体コンピュータサービス株式会社	斎藤 幸子
株式会社メタテクノ	伊藤 明子

【キャリアアップ賞】 (1名)

係長相当以上である方で、なおかつ有能であり実力を発揮している方

会社名	受賞者
株式会社CIJ	原 真珠美

【リーダーシップ賞】 (11名)

非管理職で伸長著しく他の模範となり、今後、管理職になる事を期待できる方

会社名	受賞者
株式会社アイネット	岡野 彩香
株式会社エーアイネット・テクノロジー	米内山 ひかり
株式会社HTKエンジニアリング	藤村 花菜子
株式会社NSP	田邊 玲
NTTエレクトロニクステクノ株式会社	久保田 智子
株式会社科学情報システムズ	長谷川 真美
株式会社第一コンピュータサービス	浅野 真衣香
株式会社データプロセスサービス	石川 由依
日本データスキル株式会社	中島 舞
株式会社日本ビジネスエンジニアリング	城水 彩乃
株式会社YSLソリューション	前山 有紀乃

【ワーキングマザー賞】 (10名)

所属企業にて産休・育休を取得後、現在、小学生までの子どもを育てながら、仕事にも積極的に取り組んでいる方。但し、子どもが就学するまで休職していた方は除きます。

会社名	受賞者
株式会社アイネット	越智 明日香
株式会社HTKエンジニアリング	川崎 桃子
株式会社NSP	出浦 こず恵
NTTデータフォース株式会社	鍋島 英子
株式会社科学情報システムズ	廣瀬 愛
株式会社CIJ	土屋 美紀子
株式会社第一コンピュータサービス	佐藤 香代子
日産車体コンピュータサービス株式会社	岡村 奈津子
日本データスキル株式会社	二正寺 彩夏
株式会社日本ビジネスエンジニアリング	田中 優子

2年6月16日(木)  
三講座特別委員会



【SE講座講師認定者】 (4名)

会社名	認定者
株式会社ISTソフトウェア	宇賀神 公貴
株式会社アイティサーフ	内堀 徹男
株式会社アイネット	木上 望
株式会社日本ビジネスエンジニアリング	藤井 繁



第64回神情協ビジネスフォーラム

第64回ビジネスフォーラムは、神情協とJIETの共催によりホテルプラムで開催されました。会場参加者80名、Zoomによるオンライン参加者11名で実施しました。

神情協坂井会長、JIET南出理事長の挨拶により第一部が始まり、新明和ソフトテクノロジー株式会社、株式会社エスティード・ジャパン、コアフューテック株式会社、サイバークム株式会社、株式会社哲英、人材コンサルタンツ、三上特許事務所、鉄道情報システム株式会社、神情協横浜市交流委員会の全9社（神情協5社、JIET4社）による商談発表が行われました。発表内容は、電子帳簿法対応サービス（契約書管理）、ネットワークソリューション、新しい開発プロジェクトメソッドの提案（第三者テスト）、会社紹介、補助金・助成金の活用、脳活用度診断プログラム、特許の仮出願、情報セキュリティサービス、ローコードツールと興味深い内容で参加企業も真剣に聞き入っていました。今回は、横浜市交流委員会枠で横浜市福田CIO補佐官による民間企業等との創発・共創のプラットフォーム（YOKOHAMA Hack!）の紹介があり、本事業への参画、本事業に関する情報の受取り

を希望されるパートナー（企業・団体）の募集についての説明がありました。

第二部は、守屋委員長による新規会員4社、ゲスト企業2社の紹介があり、その後名刺交換会を実施しました。まん延防止等重点措置は解除されていましたが、感染対策した会場で、久々に活気のあるビジネスフォーラムとなりました。

株式会社アイティサーフ  
内堀徹男



## 介護離職防止セミナー「介護離職しない、させない」

開催日：2022年2月8日(火)  
女性活躍ダイバーシティ委員会

「介護をしながら働く本人が解説！介護離職しない、させない」をテーマに、株式会社ワーク&ケアバランス研究所の代表取締役 和氣美枝さんをお招きして、オンラインで講演いただきました。26名が参加しました。

家族の介護を事由に会社を退職し、家族の介護に専念することを「介護離職」といい、現在働き盛りであるはずの40代「団塊ジュニア世代」の介護離職が始まりました。これは労働力が減っていくという危機であり、介護離職の阻止が課題となります。介護者は「何をしたらいいのか、何が必要なかわからない」状態。会社は介護者にただ休暇を与えるのではなく、必要としている支援に対して情報提供機能をリファーできる体制を整えることが必要であり、両立に必要な環境を整えるための支援・職場づくりが必要であるとしました。病気といえば病

院、介護といえば「地域包括支援センター」と、みんなが言えるようになればと思い、和氣さんは活動しているそうです。

講演を拝聴し、仕事と介護の両立には仕事や生活がうまく回るような介護ができる環境整備が必要であり、その機会と情報を会社が与えてあげることが必要なのだと考えさせられた有意義な講演でした。

アイシス株式会社 高木紗綾香



## 大学向けSE講座実施大学と神情協SE講師との情報交換会

開催日：2022年2月28日(月)  
SE講座特別委員会

神情協事務局会議室とWeb会議でSE講座実施大学5校11名、SE講座講師21名が参加して「大学向けSE講座実施大学と神情協SE講師との情報交換会」が開催されました。会議の冒頭、坂井会長から「大学でSE講座が役立っているとの声があり、これからも長いお付き合いをお願いしたい」と挨拶がありました。

SE講座を開催した大学から実施状況、Web授業の状況などについて報告をいただきました。Web授業は「1:1の感覚でIT業界の実状を聞くことができ理解が深まった」、「チャットを使って質問がしやすい」、「文系学生の業界理解に役立つ」、「女子学生の理解が深まった」、「授業毎に講師が変わるが同じ話が多い」、「最新技術(AI, IoT, クラウド)の話が聞けて

勉強になった」など多くの意見がありました。その後の意見交換会では、大学側から「具体的なSEの仕事内容説明が欲しい」、「若手社員の話が聞きたい」などの意見がありました。小川名委員長から「大学担当講師をチーム体制にして、各講師の講義概要などを情報交換、共有を図りより良いSE講座にしたい」との話があり、有意義な情報交換会となりました。

最後に板橋副会長から「SE講座の役割が大きくなっているため、大学側からの要望も聞き入れ、SE講座を引き続き継続して行きたい」との話があり、和やかな雰囲気の中情報交換会を終了しました。

テクノスクエア株式会社 渡部雄三

## 労働福利委員会セミナー

開催日：2022年4月8日(金)  
労働福利委員会

『2022年の労務関連法改正～何を準備しておくのか?』と題して社会保険労務士法人ストラテジーの梅村吉博さんに講演いただきました。会場でのリアル参加およびZoomを用いたリモート参加合わせて約20社が参加され、現在注目のテーマについて熱心に耳を傾けました。

まず、育児・介護休業法改正の背景と内容、そして会社はどのような対策をすべきかについて、変更点の詳細な解説や改正事例について解説をいただきました。対応策については社内への周知から意向把握の方法、そして『労使協定書案』や『育児・介護休業に関する規則案』など規程類の文案を惜しげもなく提示いただきました。

次に2022年6月から中小企業にも適用されるハラスメント防止法について、本法律の制定の背景から分かりやすく説明いただきました。参考としてパワハラ例示と最近のテレワーク環境におけるハラスメント事情(リモハラ:リモートハラスメント)の解説もいただき、昨今雑誌でも特集される本件を非常に興味深く傾聴しました。会社として準備すべき社内体制と整備すべき規程類について具体的に説明いただき経営者と実務担当者にとって実に有益で有意義なセミナーだったと感じております。

株式会社バリュー・エージェント 阿久津太助

## 第84回神情協ゴルフコンペ

開催日：2022年5月24日(火)  
企業経営委員会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2年間延期された神情協ゴルフコンペが開催されました。第84回となる今大会は、朝礼やパーティーを行わないコロナ対策を採り、富士小山ゴルフクラブで行われました。アウト7組、イン8組、初参加者15名を含む総勢57名が参加しました。当日は、曇り時々晴れ、時折爽やかな風が吹く絶好のゴルフ日和となり、アウト坂井会長、イン常山元会長の始球式でスタート、各組楽しく熱戦を繰り広げました。

結果は以下の通りですが、ベスグロは78で、ワイイーシーソリューションズの松下さん、2位はアプリコットの畠山さんで、グロス79とハイレベルな戦いでした。

次回85回大会は、来年5月頃催予定です。皆さまの参加をお待ちしております。

株式会社パシオン 山元桂子

順位	会社名	参加者名	ネットスコア
優勝	株式会社アプリコット	畠山 英俊	70.6
準優勝	株式会社エスポール	寺村 正	71.6
第3位	株式会社ワイイーシーソリューションズ	松下 公哉	72.0



# シリーズ会員企業紹介

## ■株式会社一 (いち)

当社はソフトウェアや組織に関する知見を有しながら、外部との資本関係を持たない独立コンサルティングファームです。主要なソリューションは、ITやソフトウェアの第三者見積評価、コスト予測やチーム・組織アセスメントです。また、組織変革・改革の支援活動も行っています。

知識主導社会が本格化している現代において、ソフトウェアは富を生み出すエンジンです。人海戦術、場当たり的な対応で取り組むのは愚かなことです。これからのソフトウェアは、深い理論や生命的で複雑な振る舞い、ビジネスとの連動や社会的な機構、創造的なデザインなど、従来の問題設定とは異なるアプローチが必要

です。ソフトウェアは、従来のコンピュータプログラムのみならず、運用のプロセスや人の組織的な活動など、広い意味で知識が組み込まれて「実行」するものまで含めてとらえなくてはなりません。

当社は人・カネ・モノを集めず「知」を中心とした経営方針のもとに、2名の役員と10名ほどのパートナーで、企業境界を越えたりモト・分散型の活動を進めてきています。今や、常識となったアジャイルプロセスについても初期段階から関わり啓蒙活動を行ってきました。現在は、イノベーションやアーキテクト育成を主題とした活動（「知働化」と呼ぶ）を推進しています。



**NUMBER ONE**  
一番優れていることを目指す  
**ONLY ONE**  
他に類のないユニークな活動をする  
**NEXT ONE**  
次世代に向けた牽引役を果たす

設立：2004年4月1日  
資本金：250万円  
売上高：3,000万円  
社員数：2名  
住所：東京都渋谷区千駄ヶ谷五丁目21番6号  
プラザF1ビル 5階  
Tel：03-4405-7357  
URL：http://1corp.co.jp/

## ■株式会社ホープクリエイト

株式会社ホープクリエイトは1986年に設立し、2022年で36周年を迎えました。設立当初から生命保険、損害保険向けのシステム開発を中心にを行っています。ここ数年はAndroidやiOS向けのアプリ開発などにも事業を広げています。社長が中高時代を広島県で過ごした経緯から中国・四国地方からの採用が多く、社員の6割は地方出身者となります。

当社の理念は、設立時より変わらず、「知」「技」「心」を重視してきました。まずは、社会全般あらゆるものへの知識の探求、次に業務上必要不可欠な技術力の習得、そして、やはり事業を継続発展させていくには、それに携わる人々の心の繋がりが重要となります。

どんな時でも、「仕事の関係」と割り切るのではなく、「一期一会」の出会いを大切に、次に生かしていく事こそ弊社が目指してきたものです。そして今後もそうありたいと考えています。

コロナ禍で客先常駐とテレワークの併用で業務を行う社員が多い中、できるだけ対面で会うことを重視し、お客様はもちろん関係各所や神奈川県情報サービス産業協会の会員企業様との更なる関係を構築していきたいと考えています。



設立：1986年4月1日  
資本金：1,000万円  
売上高：非公開  
社員数：25名  
住所：神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町3丁目30番4号  
明治安田生命横浜西口ビル6階  
Tel：045-314-3772  
URL：http://www.hcc-net.co.jp/

## ■ネットワークプランニングサービス株式会社

2002年に創業し、お蔭さまで今年20期を迎えることができました。

リーマンショック～東日本大震災を転機として、客先常駐型IT人財業からほぼ脱却することと相成りました。当社のエンジニアは一 (いち) 商人としてシステム・ソフトウェア開発の仕事提案し獲得します。自社にてハードウェア選定・購入、サーバー構築・ネットワーク構築を介してこれにぶら下がるセンサー等のデバイス開発 (少し前のIoTですね)、そして上に載るソフトウェアを開発し、ワンストップでお客様に納品していきます。お客様の浮いた経営資源を他業務などへ分配するお手伝い (流行のDXですね) をするという本来あるべき形態に大転換

することができ、現在に至っております。

当社は身の丈に応じ、当社でしかできないものをニッチな市場の中に追い求めてきました。例を挙げるとWiFi6による無線LANメッシュ基盤。従来型PBXとSIPを繋ぎスマホで内線電話化・構内緊急放送システム。全国に散るアナログ計器をAIによって自動で読み込む電子帳票&地図連動システム。オンプレでの企業内現場映像配信の仕組み、IDタグを使って構内安全の仕組み等々構築します。日本を支えるエネルギーインフラ業界における安心・安全の一翼を担っているものと自負しております。今日も当社エンジニアはヘルメット・ハーネス等で安全装備。お客様の現場調査へ行ってきました！ご安全に！



設立：2002年4月24日  
資本金：3,000万円  
売上高：4,500万円  
社員数：3名  
住所：神奈川県藤沢市川名1-7-30  
Tel：0466-28-6231  
URL：https://www.nps-inc.jp/

# 賛助会員紹介

## 首都圏デジタル産業健康保険組合

私ども首都圏デジタル産業健康保険組合（旧神奈川県情報サービス産業健康保険組合）は昭和56年神奈川県内の情報系企業の皆さまによって設立された健康保険組合です。

現在、健康保険組合は超高齢社会の進展による医療費の増大、それに伴う財政の圧迫という問題に頭を悩ませておりますが、当健康保険組合では令和4年4月から組合名称を変更すると同時に、健康保険組合への加入要件も、従来のシステム開発やそのメンテナンス業務のみならずWeb開発、データサイエンス、ロボティクス、画像・音声関連等、幅広い業種へ広げることで、運営の持続可能性の向上を目指しています。

また、健康保険組合の機能については、以前からの医療費給付や補助金支給、健診制度の提供等に留まることなく、事業所様の企業経営に対する付加価値の向上が実現するよう、健康経営推進の側面支援を開始いたしました。

さらに令和4年度からは健康保険料率を9.5%から9.2%へと引下げ、既存のご加入企業の皆様のご負担を軽くすると同時に、新規ご加入をご検討されている企業の皆さまにも魅力を感じていただけるようにいたしました。

是非、神奈川県情報サービス産業協会にご加入の皆さままで当健康保険組合に関心をお持ちの方がおられましたらご一報ください。

心よりお待ちしております。



【加入についてのお問合せ】

首都圏デジタル産業健康保険組合  
〒220-0004

横浜市西区北幸2-10-39日総第5ビル7F

TEL045-314-1477（平日9時～17時）

窓口 管理課適用係

<https://www.sdi-kenpo.or.jp>

## 新会員 INFORMATION

### ■正会員

株式会社アップロード  
東京都港区浜松町

代表 小嶋山 千恵子

<http://www.upload21.jp/>

TEL 03-6717-4486

業務 システム開発全般、事務業務全般のアウトソーシング

### ■正会員

株式会社ギガ・システム  
横浜市中区日本大通

代表 今井 一歩

<https://www.giga-system.co.jp/>  
TEL 045-264-8003

業務 業務系システム開発 Web系システム開発 工場システム開発 ゲーム

### ■正会員

株式会社ITSコア

横浜市港北区新横浜

代表 奥山 伸二

<https://www.its-core.jp/>

TEL 045-478-0801

業務 業務システム開発・保守、パッケージソフト開発、Webサイト構築

### ■正会員

ミツイワ株式会社 横浜営業部  
横浜市西区北幸

代表 小佐川 正人

<https://www.mitsuwiwa.co.jp/>

TEL 045-311-8984

業務 ・情報機器販売およびネットワーク機器/通信機器の販売

・システムインテグレーションおよびネットワークインテグレーションの提供

・情報機器/ネットワーク機器/通信機器のハードウェアおよびソフトウェアサポート

の提供

・システム運用サポートサービスの提供

### ■賛助会員

株式会社トータル・エージェント

横浜市港南区港南台

代表 堀田 知成

<https://www.totalag.co.jp>

TEL 045-352-7163

業務 保険代理店

## 広報委員会コラム

今回のKIAWave（119号）から、文体が変わったことにお気づきですか。118号までは常体（だ・である調）でしたが、敬体（です・ます調）に変更したのです。「そんなこと決めてあったの？」と思われる方も少なくないでしょうね。実は、文体だけでなく、文章の構成、漢字とひらがな、半角・全角なども基準を設けた「広報誌の執筆および推敲ガイド（初版は2013年発行）」があるのです。

KIAWaveは、多くの方に執筆や寄稿をお願いしています。そして広報委員が手分けして校正を行っています。日本語の表記には決定的な正解がないため、何らかの基準を設けておく必要があるからです。

読みやすく、品位が保たれた広報誌を目指して、広報委員は奮闘しています。「そんな面倒なことを言うなら寄稿しない」などとおっしゃらずに協力してくださいね。

「広報誌の執筆および推敲ガイド」には、こんなことも記載されています。

○「（株）マルマル システムズ」は、「株式会社マルマルシステムズ」が正しい。

日本語の社名には空白文字は使えない（登記できない）のです。また、「株式会社」社名の一部なので「（株）」と省略するのは失礼にあたります。

○ 外来語の長音記号は書くこと（社名などは登記が優先）。

たとえば、日本工業規格（JIS）では「コンピュータ」と表しIT業界ではなじみ深いですが、内閣府告示では「コンピューター」です。書物によって使い分けられていましたが、2019年にJISが歩み寄り内閣府告示に準拠するよう明記しましたので今回の改訂に反映しました。ちなみにマイクロソフトは2008年から長音記号をつけています。

「広報誌の執筆および推敲ガイド（第3版）」は、神情協ホームページからダウンロードできますので、ご興味のある方はご覧ください。

URL：<https://www.kia.or.jp/shared/images/association/pdf/howtowrite.zip>